

No. 1 病院の変更に関する案件概要

議第1422号 横浜国際港都建設計画病院の変更

| 名 称 | | 位 置 | 面 積 | 備 考 |
|-----|----------|-------------|-------------------------|-----|
| 番 号 | 病院名 | | | |
| 1 | 南部地域総合病院 | 港南区港南台八丁目地内 | 約 23,200 m ² | |

(内容)

本病院は昭和 56 年の都市計画決定を経て昭和 58 年の開院以来、本市が位置付ける地域中核病院として、本市南部の地域医療の中心的な役割を担ってきましたが、近年の医療ニーズの拡大や高度な医療の提供のために、施設の老朽化及び狭あい化が課題となっています。

さらに、今後団塊の世代が後期高齢者となり、限られた医療資源を有効活用し、新たな医療ニーズに対応していくため、本病院は政策的医療や高度医療・急性期医療を担うだけでなく、地域完結型医療を実践する医療連携の中核となる必要があります。

そこで、この度、移転再整備を行うため都市計画病院の区域を変更します。

No. 1 道路の変更に関する案件概要

議第1423号 横浜国際港都建設計画道路の変更

| 種別 | 名称 | | 位置 | | | 区域 | 構造 | | | | 備考 |
|------|------------|-----------|------------------|-----------------|--|--------------|-----|------|------|---|---------------------|
| | 番号 | 路線名 | 起点 | 終点 | 主な経過地 | | 延長 | 構造形式 | 車線の数 | 幅員 | |
| 幹線街路 | 3・3 ・11 | 環状3 号線 | 磯子区 杉田五 丁目 | 都筑区 佐江戸 町 | 磯子区 洋光台 六丁目 港南区 港南台 六丁目 泉区 中田町 瀬谷区 二ツ橋 町 旭区 都岡町 緑区 寺山町 | 約 28,280m | 地表式 | 4車線 | 22m | 京急本線と立体交差 J R 根岸線と立体交差 J R 東海道本線と立体交差 J R 横須賀線と立体交差 J R 東海道貨物線と立体交差 市営地下鉄1号線と立体交差 相鉄いずみ野線と立体交差 J R 東海道新幹線と立体交差 相鉄本線と立体交差 J R 横浜線と立体交差 自動車専用道路と立体交差2箇所 幹線街路横浜鎌倉線と立体交差 幹線街路桂町戸塚遠藤線と立体交差 幹線街路横浜藤沢線と立体交差 幹線街路国道1号線と立体交差 幹線街路鴨居上飯田線と立体交差 幹線街路三ツ境下草柳線と立体交差 幹線街路川崎町田線と立体交差 幹線街路と平面交差15箇所 | 路線の 幅員 22~34m |
| | なお | | | | | | | | | | |
| | 支線1号線 | | 戸塚区 戸塚町 | 戸塚区 戸塚町 | | 約280m | 地表式 | | 13m | | |
| | 支線2号線 | | 戸塚区 汲沢町 | 戸塚区 汲沢町 | | 約260m | 地表式 | | 13m | | |
| | 支線3号線 | | 栄区 小菅ヶ 谷町 | 栄区 小菅ヶ 谷町 | | 約260m | 地表式 | | 13m | | |
| | 支線4号線 | | 栄区 小菅ヶ 谷町 | 栄区 小菅ヶ 谷町 | | 約180m | 地表式 | | 13m | | |

(内容)

本路線は、磯子区杉田五丁目を起点とし、都筑区佐江戸町を終点とする延長約 28,280m、代表幅員 22m、4車線で市域の一体化を目的とした環状方向に連絡する幹線街路の一つであり、横浜市港南区において、第1号南部地域総合病院の移転再整備予定地（旧港南工場跡地）の北側に位置しています。

このたび、第1号南部地域総合病院の移転再整備に伴い、当該施設への交通アクセス性及び周辺交通の安全性を向上させることを目的に、新たに右折レーンを設けるため、本路線の区域を変更します。